

特252

966

川九號
二月

社團 養鷄組合中央會主催
法人

第一回市販鷄卵批判會



始



特 252
966

はしがき

近時鶏卵の需要増加に伴ひ東京市に入荷する鶏卵はその數と共に出荷團體の數も年々増加しつゝあり。鶏卵の商品價値は直に卵價に影響するを以て自ら其の荷造並に内容の吟味は愈々重要な問題となるに至れり。此の秋に當りて本會は今回農林省の後援を得て昭和九年十二月十八日より三日間東京市中央卸賣市場に於て第一回市販鶏卵批判會を開催し東京市に集荷したる廣範圍の鶏卵に就て其の外装、内装及び内容に就き公正なる審査批判を行ひたり。依つて其の結果を記録し茲に汎く一般關係者の參考資料となさんとす。



批判者氏名

農林省

種鶏場技師 長尾秋雄

農林技師 米田富

畜産試験場技師 芝田清吾





(批 判 會 狀 況)



(鷄 卵 內 容 査 査 狀 況)

立川 中央會の事業については何時も色々と御配慮を頂きまして有難うございます。この機会に御禮を申し上げます、今回市販鶏卵批判會といふものを催しました所が皆様の非常な御援助に預りまして、お蔭を以て相當な効果を挙げましたことは、これ亦、感謝に堪えませぬ。更にこの鶏卵批判會を座談的に開いて色々の御意見を承り、我々の仕事の上にも資する所を伺ひたいと思ひます。今日は、御多忙の所をお繰り合せ頂き有難うございました、どうかこれから指導獎勵といふ意味で、腹藏なき御意見をお述べ下さいませれば、主催者と致しまして幸甚に存じます、まだお出でになりません方々には後でお話を伺ふこととして先づ順序と致しまして中央會の深川主事に今回の鶏卵批判會にサンプルを取つた方針といふものに付きお話を願ひたいと思ひます。

深川 座長から御指名がありましたので、鶏卵を抜取りました方針につきまして述べたいと思ひます。この批判會は今回が初めて催しでありますし、また準備も整はなかつたのと年末多端の際でありましたので理想的には出来なかつたのであります、今この抜取りました集荷驛を申しますと、東京市に最も多量に入つて居ります汐留を初めとして秋葉原、飯田町及び兩國、の四驛と致したのであります、この抜取り數量は成るべく範圍を廣くする方針でありましたが、十七日に入札の荷物が大部分關西に落札を致しました結果荷物を得られませんでしたから、十八日に入札

致しましたものと二日間に亘りましたものを適宜抜取つたのであります。併しながら生憎入札の落札の關係で出荷團體の数が少なかつたのであります、そして抜取りは一團體二箱見當で、入荷の状況によりまして適宜に増減する方針で、總數量は七十箱以内と豫定して居りましたのであります、前に述べました通りに入荷状況が意の如く参りませぬため漸く四十箱を集めた様な次第であります、今この出荷團體別に抜取りの數量を申し上げますと静岡縣分印駿河中部養鶏組合聯合會四三五箱のうち四箱、同縣分印濱名郡養鶏組合聯合會のもの四八六箱のうち四箱、同縣分印磐田郡東部養鶏組合九八箱中四箱、同縣分印磐田郡西淺羽養鶏組合聯合會一六九箱中四箱、同縣分印駿東郡養鶏組合聯合會の二九箱中四箱、愛知縣の東三鷄業組合のもの、これは臨時出荷分であります、一〇〇箱中四箱を抜取りました。長野縣の印更級郡養鶏組合聯合會のもの四五八箱のうち二箱、同縣東部北信養鶏組合のもの二四〇箱のうち四箱、埼玉縣三ヶ島村養鶏組合一八箱のうち二箱、群馬縣養鶏組合聯合會のもの二四箱のうち二箱を、福島縣では双葉郡養鶏組合聯合會のもの二〇箱のうち二箱を、次に千葉縣西條村養鶏組合二箱、同郡栗源村養鶏組合のもの一箱、同縣中村養鶏組合のもの一箱、合計二、〇八一箱のうちから四〇箱を抜取つた譯であります。その區域は七縣十四出荷團體であります。なほこの集荷は生産團體に豫告して抜取りましては効果

がありませぬので、どうして抜取りをするかといふことは豫め研究をして見たのであります、先づ初回の試みと致しましては、入荷した鶏卵を、東京の豊田、中山、若林の三問屋にお願ひし着荷と同時に適宜抜取り、卵を買取つて貰ひまして、これを審査場へ搬入して本會の係員が立會つてこれを受取りまして保管を致したのであります。審査場は市内の四驛から集めます關係上、中央卸賣市場の食鳥會社に隣接した倉庫四室を借受けまして、昨日の午前十時から午後四時まで審査をして頂いたのであります。この批判會は全國養鶏家の生産致します鶏卵の商品價値を向上致しますのが目的でありますので、この批判が非難に流れましては反つてその出荷團體の信用を落すやうな場合のあり得るのを懼れるのであります、また養鶏家に非常な迷惑をかけるやうにもなりませんので、この批判を最も有效ならしむるためには出來得る限り公正を旨として、養鶏家を指導する方法を取つて見たいと思ふのであります、なほ抜取りの際に運悪く不良品を抜取られたといふ組合は、その組合名を發表されますと、これまでの聲價を墜すやうな場合も無きにしも非ずと考へるのであります。勿論出荷團體は品を揃へる必要上運悪くても不良品であつてならない譯であります、一の出荷團體と申しましても數組合または二十數組合も集まりました團體があるのでございますから、中には不良品もある譯であります。それらの點も相當考慮して置く必要

があらうと思ふのであります。従つてこの批判會の場合についても、組合名を出して御批判願ひましても、これを發表します場合に於ては本會で、適當の取捨をして見たいと考へるのであります。萬一出荷團體に對しまして特に注意をしなければならぬやうな場合がありましたならば、その出荷團體に對しまして、本會から別に秘密にこれを通知して改善を促したいと考へます。また本會の抜取りから洩れた出荷團體がありますが、入荷の關係で抜取りの出來なかつたことは甚だ遺憾に存じてゐる次第であります。

米田 今のことについて一つの希望を述べたいのでありますが、生産者への通知について、夫々の出荷團體には批評の内容を通知し注意してやると同時に縣當局なり、縣聯合會等の關係してゐるものにつきましては、その團體名を知らしてやつて連絡を取るやうにした方が一層効果があるらうと思ひます。

深川 御説の通りであります。從來でも不良品の出た場合、市場で苦情のある場合立會つて損害賠償等致します。さういふ場合必ず出荷團體のみならず縣聯合會、または必要に応じて縣の養鶏係へ通知して居るのであります。御注意下さつたことは今後必ず實行致します。

長尾 東京に集まる荷物で茨城、栃木、山梨及び他縣のものはどの位入つて居りますか。

深川 茨城縣は縣聯合會で昨年から斡旋を始め、中央會で斡旋致して居りますが、五日目一回に約二十箱から四十箱程度しか集まりません、それも御存じの通り地場で消費するものが相當あり、産地と東京と兩方で入札にかけまして販賣を斡旋してゐる譯であります、従ひまして茨城縣で落札するものもあり東京で落札するものもあります。最近では殆ど茨城縣内で消費するため、茨城縣で落札するのが多いのであります。栃木縣は三、四年前から縣聯合會と連絡を取つて居ります、これは御存じの通り日光方面の消費が多いため共同出荷する程度には至つて居りませぬ。埼玉は昨日御覽を願ひました三ヶ島の方面の外に二、三共同出荷をする團體がありますが、三ヶ島が埼玉の殆ど代表的なものであります。山梨は昨年度に岡本前會頭にお伴致しまして、縣當局や縣聯合會の方々と打合せをしたのであります、土地の鶏卵問屋が少し抜かつてゐる程度で、まだ本會として斡旋する程度ではありません、少しは東京に入つてゐますが、ハツキリした數量にはなつて居りませぬ。

長尾 この次はさういふ所のものも一箱宛でも入れて頂けば大變面白いと思ひます。

深川 今回も松川さんと相談致しまして、さういふ卵も集めて範圍を廣くしたいと考へて居りましたが日時もありませんし、また最近茨城にしても栃木にしても産卵が少いやうであります。

遺憾ながら荷が取れませんので、次回は必ず取るやうにしたいと思つて居ります。

長尾 豫告をする時何月位といふ程度なら如何でせう。

米田 それとも何月と言はず春夏秋冬適宜に、一年三回とか四回やる計畫であるといふ豫告はよいと思ひます。

松川 今度ラヂオのニュースで通告する積りです。

米田 可成廣く此の如き催のあることを知らせることは必要ですね。

松川 豫告する積りで居ります、次回の開催時期は豫吉をして置きます、次には包装並に材料標識等の御批判に移りたいと思ひます。

米田 皮切りとして私から先づこの點について意見を述べたいと思ひます、包装は内容の改良と同時に非常に商品価値を高める上に於きまして大事なものでありまして、一番はじめに直接消費者の目に入るものでありますから、特に氣を付けなければならぬと思ひます、折角内容を良くしても包装が悪いため内容まで悪いやうな感じを與へることがありますから、特に心掛けなければならぬと思ふのであります。今回の七縣のサンプルについて見ますと、大體、古くから養鶏をやつてゐる地方と新しく始めた地方とで種々の意味で區別がハッキリ付くやうに思ひます。先づ

北の方から、福島縣について申しますと、福島縣のサンプルとして双葉郡聯合會のものは、從來相當古くから共同出荷をして居る團體で以前から東京市場に出てゐるのでありますが、從來の荷造り方法をやつてゐて、板の如きも極めてしみの多いもの荒削りのもの等がありました、寸法の違つたものであるとか、釘の打ち方にしても適當な打ち方とは言へません、従つて箱の形も整つてゐないのであります、板の削り方にしても妻板が不十分なため印刷が不鮮明でありまして、どうも體裁がよくないのであります。記入の文字にしても卵の数、出荷團體名等がたゞ亂雑に書いてあるだけで外觀の綺麗さといふものに氣を付けてない。繩掛けについてもどうも拙く、そのため繩が解けてゐるといふものもあつたやうであります。群馬縣の出荷については、最近はじめた地方でありまして、比較的荷造りは統一されて居るやうであります、箱材料にしても繩にしても相當よいものを使つてゐるやうに思はれました、これで内容さへよければよいのではないかと思ひました、繩も相當太いものを使つてあります、千葉縣のものは從來テンデに出荷してゐる方が多く香取郡等一、二を除いては纏つた數量の共同出荷は餘りないので、従つて箱材料の如きも區々の物が多いのでありますが、昨日觀ましたサンプルにつきましましては千葉縣の購買販賣組合聯合會で取扱つて居る關係上、兎に角荷造り材料は統一されて居るのでありますが、板の削り方の不

十分なため印刷の不鮮明なものが多いのであります。殊に印刷のインキ色につきましましてはなほ改良しなければならぬと思ふのであります。繩の如きも、極く粗悪な古い感じのするものを使つて居る所もありました、結び方につきましてもなほ研究を要するものと見受けました、また付けてゐる荷札も、その中には「優良米」と書いてあるものを使つた所があり、卵の荷造りに「優良米」はどうしても適當ではないと思ふのであります。次は埼玉縣のものであります、深川主事のお話では埼玉縣は最近共同出荷をはじめたもので單に三ヶ島だけでありますから、他を律する譯には行かぬのであります、兎に角三ヶ島の荷造りにつきましては相當吟味してあるやうに見受けま
す、たゞレベル、封緘紙のやうなものを一方に四枚も貼つてゐるものもありました、封緘の目的は上面と下面に貼つて途中で箱を開けられないやうにするのでありますから、上下二枚づくにすればその効果があるのではないかと思ふのであります、また體裁から言つても、一面に四枚も貼るといふことは不必要でもあり、どうかと思ひます。次は長野縣であります。長野縣は御承知の通り昨年から鶏卵の縣外移出の強制検査を始めて居るのであります、大體に於いて内容と同時に包装の検査もやつてゐるのでありますからして、比較的包装につきましても統一が取れてゐるやうに思ふのであります、強制検査といふても検査員の手加減が猶一樣でない關係上、す

べて完全に統一するといふことは難かしいのであります、板の削り方にしても繩にしても非常に粗悪な荒繩でやつてゐる所もあり、結び方にしても緩いもの不規則なもの等、なほ研究しなければならぬと思ふのであります、たゞ刷り込み文字等は殆ど統一されて居りまして、あの位の程度ならば十分と思ひました、殊に更級養鶏組合のものはなか／＼立派なものがありました、たゞ妻板が上下反對に打たれて居るものがありました、これなど簡単な注意で完全な荷造りが出来るのに惜しいことでもあります、なほ注意を要します。次に一番数の多かつた静岡縣の出荷について見ますと、先程お話のありました五團體から出てゐるのであります、静岡縣は御承知の通り四、五年前から共同出荷が盛になつて來たのであります。隣りの愛知縣よりは餘程新興の氣分に燃えてゐる出荷地でありまして數年前から自營の出荷検査をやつてゐる所もあり、共同出荷はなか／＼うまくやつてゐる地方が多いのであります、東の方から言へば駿東郡の養鶏組合聯合會のものについて見ますと、箱もなか／＼立派なものを使つてゐるやうであります、その他西淺羽養鶏組合、濱名郡養鶏組合、磐田郡東部、駿河中部養鶏組合といふものゝ荷造り材料については、餘り非難すべき餘地が無いやうであります、中に繩が非常に細いものを使つて、一般に三巻きしてあるのを四巻きにしてゐるものがあります、妻板の刷り込みは大部分よいやうであ

りますがたゞ駿河中部に極めて不鮮明なものがありました。それは出荷組合の記號を書込んだのだらうと思ひますが、もう少し丁寧に書けばよいと思ひます、むしろかういふものは一々書込むのではなく、ゴム印を押すやうにしたら一層體裁がよくならうと思ひます、最後は愛知縣であります、愛知縣は従來鶏卵の共同出荷につきましては、一番古い歴史を有つてゐる地方でありまして、包装の點につきましては、大體よく統一が取れてゐるやうであります、従來板の厚さは、一・一センチ蓋底一・一センチ妻板一・七センチ位の厚さを有つて居りまして、今まで申上げた静岡縣等と殆ど變りがありませんでしたが、最近に於いて縣の移出検査で板の厚さを〇・九二センチ、妻板の厚さを一・五二センチまでよいことになりましたので、それで検査を通ればよいといふ考へからではないかと思ふのでありますが、どこも昨日見ました四箱について見ましても、ギリ／＼の範圍内でやつてゐるといふ氣分が見えるのであります、そのため蓋板がこはれたり、或は釘の打れが出たり、隣りの静岡縣に比して荷造りに格段の見劣りがするやうに思つたのであります、その他の點につきましては、流石古くからやつて居る先進地だけに、妻板の刷り込みも鮮明で、封緘紙の貼り方も體裁よくやつて居ります、板の厚さについては従來通りの厚さに戻した方がよいと思ふのであります、また繩にしても、検査規則では従來〇・八センチまで許され

て居つたものをこの春の改正によりまして〇・七六センチあれば許されるやうになつたためです、一般に使つてゐる繩が細くなり、他地方のものに比し格段の見劣りがする嫌ひがあるのであります。これらの點はよく注意しなければ折角従來の養鶏王國も其の體面は保てなくなるのではないかと思ふのであります。總體から申しますと先刻言つたやうに古くから共同出荷をやつてゐる所に於いては、荷造りも極めて統一的是であるが悪い所は依然としてとれない。新進の養鶏地に於きましては比較的荷造りが統一されてよいものを使つてゐます、殊に箱材料繩といふものを共同購入して、それによつて出荷してゐるといふ所に於いては、荷造りの體裁といふことには非常に有利であることを認めたのであります。共同購入共同出荷といふことの有難みは、かういふ所にも認めるといふことが出来ると思ひます。

立川 お話し中ですが、私中央會の問題がありまして農林省へ行つて参りますので一寸退席致します、その間松川技師に座長をお願い致します。(立川氏退席)

深川 米田さんから大變適切な御批判を頂きましたが、鶏卵箱の外装は全く商品價値を向上する上に於て、非常に有力なものであります、荷造りの善悪によつて販賣價格に影響するといふことは現實に認めて居るのであります、我々も荷造りにつきましては、絶えず出荷團體に對して注

意を促してゐるやうな次第であります

一一一

と比較して大變見劣つてゐるといふことは、我々も非常に遺憾に思つたのでありますが、この箱板の薄いことを愛知縣の當業者に話して見ますと、大量出荷になりました、貸切貨車で出荷をする場合には、さう大して厚いものを使ふ必要がないといふことを申す人があります、これも尤もな説であります、折角縣營検査を始めてゐるのでありますから、成るべく近府縣の規格と同様程度にして、厚さにしても同じやうな厚さを有つて頂きたいと希望してゐるのであります。御承知の長野縣の外装は中央會の示しました規格に依りまして、繩も板も、また標識等も一定してゐるのでありますため、外装については市場で非常に好評を博してゐるのであります、また埼玉縣三ヶ島村養鶏組合の荷造りは、輸送がトラックでありますため、繩が細くありますが、これは締り方等で完全に居りますため、市場ではこの程度で結構であるといふ風に、寧ろ良い細い繩を使つて完全に締めてゐるといふ風で、評判がよいのであります、外装で、昨日見ましたうち特に注意したいことは節穴が板にあるもの、また死節のあるものを使つてゐます、是等は寒い氣候にはよいのであります、一度破卵が出ますと一箱全體が殆ど商品價値を失ふほど濡れたり腐敗したりしてしまひまして當業者の損害を見る場合もあるのでありますから、箱板を使ひます場合

には節穴または死節のあるものは絶対避けるやう注意したのであります、千葉縣は先程米田さんが仰つたやうに擔ぎ屋で東京市場に運んでゐるやうでありますから、共同出荷團體としての模範的なものと申しますならば西條養鶏組合等が、色々な點から荷造の上から申しまして、模範的ではないかと思ひます、それにしまして最近の組合でありますから、妻板の印刷が拙かつたり幾分體裁が落ちるやうな憾みがあるのであります、その他は米田さんの仰つしやつた適切な御批判が最も當を得てゐると思ひます。

芝田 愛知縣が板を薄くした理由は？

米田 愛知縣が規則の改正をした時のことです、内輪の話をすると言つて、色々問題があつたのですが、問題のうち斷然改悪になる所は勿ねたのですが、板の厚さについては正何分正何センチとギリ／＼の所までをあらはすといふのであつて、從來四分板と言つても四分あるものはない三分乃至三分と少しで正四分のものを使つてゐない、それでは寧ろ最小限度を示してやつて行けば、當業者も從來それでやつてゐるので、寧ろ「正」を示して最低限度を示す方が、反つて検査の公正を期し得るからといふのであつたのですが、やつて見ると蓋がこはれたり釘が外れたり、やはり完全ではありません。

深川

昨日御覽を願つた駿河中部聯合會は外装の方も立派で繩の締め方も満點であります、現在

駿河中部の鶏卵は京濱市場では斷然王座を占めて居ります、さういふ風に外装等にも細心の注意を拂つてくれないと市場で相當な價格を維持することは困難であらうと思ひます。

米田 内容のよいことが一番であります、内容がよくても外装が悪いとそのため損失があります、結局箱代繩等に六、七錢、十錢費つても入札價格が箱代以上に上れば結局生産者は得なのですから。

松川 そうですね。

長尾 贅澤に流れないやうに節約をしなければいかぬ。

深川 保証票は昨日はないものもありましたが、外部の封緘に「保証」といふことを入れる場合があります。

米田 または「一粒撰り」とかいふのがありました、名實件はないものには誠に無駄な標識です。

深川 「品質保証」といふ保証票は外部に付けるのも必要ですけれども、内部に漏れなく入れるといふことも必要であると思ひます、小さい荷印を入れないと、苦情等が起きた場合何時も困り

ます、また苦情が起きなくても、その荷印を判明するやうに入れて置いて、市場の聲價を維持するといふ上から、または向上さす上からも便利にさせた方がよいと思ひます、この荷印にハッキリとスタンプを押すやうにして……。

米田 スタンプを押すことは體裁もよい、亂雑に字を書くと一箱の箇數等が分らなくなり、却つて折角の包装を汚なくする場合もある、あゝいふものはゴム印等を使つた方がよい。

長尾 マークに大分違つてゐるのがありました、中央會で指定したのですか？

深川 中央會關係のものは中央會だけで協議したゝめです。

長尾 骨といふのは？

深川 静岡のSと富士山のMとです、内地向けのみならず將來輸出の場合この荷印で行けば結構と思ひます。

米田 富士山の形に小さいSは？

深川 骨だけに入れて居ります、養鶏聯合會取扱ひのものです。

長尾 それだけ西洋字で他は日本字であるけれども……

深川 内外に聲價を發揚するといふ意味です。

長尾 千葉縣の文字の色の墨色は感心しない。

深川 妻板で體裁のよいのは信州ですね。

米田 更級はよかつた。

深川 一寸線を入れたりして、あれがなかなか體裁がよい。

米田 やはり將來は焼き判になるのでせうね。

長尾 「キロ」の下に「貫匁」を入れてありますね、入れてない所も見えましたが、多くは入れてあつた。

深川 中央會の規格は四貫匁ではなく十五キロです。

米田 過渡期だから勝手に入れてゐるのでせう。

松川 中央會では必要ないけれども勝手に入れて居るのです。

神部 お話がいろ／＼ですが私の見た感想を述べます、荷造りにつきましてはもう少し統一味を有つてはどうかと思ひます、統一と申しましても全國を統一するといふことは相當困難かも知れませんが、少くとも同一組合だけならば同じやうな方法を取つてやつたらどうかと思ひます、例へばマークにしても、同じ組合から出たものでも両面にマークの付いたもの、片方にだけ

付いてゐないもの等、眞に不體裁だと思ひます、釘についても昨日のものでは時から時六分位のものを使つて居る所もあります、あゝいふ木箱は妻板が縦でありますから時の釘では不適當と思ひますが、時二分、時半の釘は必要であると思ひます、釘の目的を達するため必要であるので、少くとも先程申しました縦板の關係から言へば時六分位の釘は必要ではないかと思ふのであります、それから同じ箱に色々な釘が減茶目茶に打つてもあります、同じ組合では色々釘の規定があるかも知れませんが、實行されてゐない様であります、繩にしても勿論目的は包装を丈夫にするにあるのかも知れませんが、一面から言へばショックによる内部の破損を防止するためでもあります、普通我々は太繩細繩と言つて居りますが、細繩は徑三分、太繩は徑四分であります、細繩ではどうも破損の方にも影響があるやうにも思ひます、また持つにしても、少し弱いのではないかと思ひます、少くとも四分の太繩の方を使はなければ、中身の破損の防止に有效にならないのではないかと感じたのであります、箇數の記入にしてもスタンプを押したものの、書いたものではないかと思ひます、箇數のあるものであれば両面に箇數を入れるべきものであるのに、片方にしか入つてゐないものもあり、要するにもう少し統一味が欲しいやうに考へたのであります。

深川 神部さんの釘の問題であります、昨日の中にも細い釘を使つてゐるものがあり、同一組

合でも数の多いものや少いものがありました、太い釘を打つてゐる所では板の質が悪いため、ひどいのがありまして、少し取扱ひが粗雑になると忽ち蓋がはなれてしまふ繩にしても非常に質のよいものを使つてゐる所もあれば、また稻を刈り取つて直ぐの、まだ生までロクに打ちもしてゐない荒藁を使つてやつてゐる所もあります、それから両面にマークを押すといふ問題は、市場に着きまして積み上げます場合に、何方を積んでも妻板が見えて便利であるといふ關係上、市場では両面にマークを付けることを歓迎してゐます、併し印刷の經費の關係で一箱當り二厘三厘とか經費を要しますため、しない組合も多いのでありますが出來得れば両面にする方がよいと思ひます。

神部 それから封紙であります、木箱に封紙をしたものや、繩に封紙をしたものがあり、中には全然しないものもあります、木箱にも繩にもするといふことは餘計なことのやうに思ひます、少くとも木箱だけに封紙をするといふことにしたらと思ひます。

米田 繩の結目に巻封紙をするのは縣の移出検査の終了を示すべきものであつて、木箱にやつてゐる封紙は皆テンデにしてゐるものであります、特に受知縣の如きは封紙まで縣でやらうとしたのですが、検査の完璧を期するためには封紙では不十分でありますから、最後に繩の結び

目に巻封を付け此に検査員の認印をするやうにしてゐるのでありますその關係上、アレをやつて居れば検査をパスしたものと解せるのであります。

深川 箱に封紙をし繩の上にも封紙をすると、假りに市場に入つて不正な商人があつて中身をすり替へるやうな場合、さういふことを防げます、中々巧く抜取りをしますから、假りに到着した箱が濡れて居つて中を調べて見ると二、三十個割れてゐる、それを改装して他處の卵を入れて立派な商品に仕立て、販賣するやうなこともないとも言へません。さういふ場合を防ぐために、縣營検査でやつてゐるやうに繩の上から封をするといふことは結構だらうと思ひます、一般の出荷團體としては經費も費りますのでよくはやりませんが、縣營検査の方ならば手数料を取つて居りますため完全にやれると思ひます。

米田 長野と愛知だけは全部やつてゐます。

松川 では次に填充材料及び詰め方につきましての御批判をお願い致します。

長尾 材料は概して良いと思ひます、たゞ二、三塵の付いたもの、乾燥の不十分なものがありましたが、以前に比べますと遙かに進んで居ります、詰め方にしても破卵が割合に少く大體あれでよいのではないかと思ふ、破卵の多い二、三の組合にはなほ研究しなければならぬと思ひます。

れども……

米田 卵の列べ方は鈍端を上にして尖端を眞下に列べるので餘程密着してゐるのもあつたが、あそこは注意しなければならぬと思ひます、穀殻は非常によくなりました、なほ土と塵の多いものは注意しなければなりません。

松川 穀殻は大體に於てよく、乾燥も一部に悪いのがありましたが、大體に於てよかつた、飾にかけず使つてゐるため土のあるのも見え注意しなければなりません、詰め方は今お話のやうな點に於て注意して貰ひたいと思ひます。

神部 穀殻は卵を使ふものから言ひますと却々大切な點であつて悪い穀殻は作業場が汚なくなるのです。

松川 我々が獎めてゐるのは土の付かない品質のよい、よく乾燥したのを選んでそれを一度篩つて土だとか夾雑物を取るといふことをかねて指導してゐるのですが、なか／＼品質のよい穀殻を十分蓄へて使ふといふことの出来ない場合もあり、止むを得ずしてやる場合や不注意でやるといふ場合もあります、所によると品質のよいものが手に入らぬといふこともあります。大體に於いてよい穀殻を使はなければならぬといふことは知つて居ります、改良しなければならぬ點は知つ

て居りますが……

米田 詰め方には關係ありませんが、さつき深川君の言はれた保證票は是非入れて置く必要があると思ひます。昨日も立派なものが入つてゐました、㊦の出荷につきましては官制ハガキに刷り込んで開箱消費の際氣付いた注意事項を記入して送つて貰うやうにやつてゐました、あの程度にやつて置けば將來改善に資するため極めて有効と思ふ。内容並に外觀についてまでの注意事項を得らるれば出荷者に非常に便利であらうと思ふのであります、けれどもそこまでやつてゐるものは極く少い。

長尾 破卵の一番多かつたのは……

松川 駿東です。

深川 駿東が一番破卵の多かつた原因は、私の方ではこの夏から研究を積んでゐるのであります、多く詰め方によると思ひます、また技術の拙いのに原因する、今年の夏問題が起りましたこと三回汐留に著いた荷物をホームで受取り問屋の倉庫に持ち込んで箱を開いて詳細に検査したことがあります、その時駿東郡聯合會としては十二分の注意をして出荷してゐるのであるから破卵の原因は着驛後の過失だといふやうに強硬な意見が出たのであります。所が度々さういふ破卵が起

きるものですから、これは必ず出荷地にその原因があると考へ、なほ調査を進めた所、やはり詰め方の拙いのが原因でありまして、排列を上手にやらない、卵と卵とが接觸するやうになつて、卵が中で偏つてしまつてゐるといふのが多いのであります、従つて最初蓋を開いて糲殻を取つて見ますと、蓋から卵までの間隙が随分多い、卵が下つてゐるのです。なほ糲殻を取つて見ますと中にかたまつてゐる、裏面の方から見ても同様で、底に澤山糲殻があつて卵が浮いてゐるといふ有様です、そこで嚴重にこちらから注意をしましたので、その後二ヶ月程は市場で苦情は起きません、昨日見ました模様では排列が上手にやつてゐないやうに思ひました、勿論駿東郡だけでなく、他の出荷團體でも糲殻の量の少いものがあります、また相當に詰つてゐながら今申しましたやうに蓋板から卵までの間が深いものがあつて、さういふのは開いて見ると必ず破卵があるといふ結果を見て居ります。

米田 これは十個壞れてゐましたが、普通は何個位でせう？

深川 商取引の慣習として一箱五個位の破卵は黙認してゐます。

米田 内容の漏洩する程度のもものではななくてどうですか？

深川 漏洩しますね、しますが五個位では問題を起しません。それが十個になると電話が掛つて

來ます、何處其處のものが悪い、立會つてくれ、立會ひ検査では随分苦しんだことがあります。

米田 詰め方は全く大事で、一個壞れても内容が漏洩するといふことになるると他の卵にも及んで價値は随分落ちる。

深川 先程お話の糲殻の不足のため萬一破卵があつた場合、一個の破卵では済まず、また汚れた糲殻があると、殊に夏の輸送中には、卵が汗をかくて殻が眞黒になる、穢ない糲殻の時は破卵があると、少し其處にでも置くと、錆色に腐敗して殻の堅い丈夫な卵にまで悪影響を及ぼして、商品價値が全く無くなります、かういふ場合がよく出て來て問題を起します、糲殻は十分篩にかけて篩つて貰ふといふことに注意したいと思ひます。昨日二、三非常に立派な糲殻を見ましたが、静岡縣と思ひますが、かういふ糲殻を使つて頂くと、少々位排列や詰め方が拙くても糲殻の弾力のよいため幾分破卵を防ぎ得るだらうと思ふのであります、この反對に粉のやうな悪い品質の糲殻を使つて居ります所では、一ヶ所に破卵が出來て穴が出來ると、直ぐ全體に及んで、損害は非常に大きくなる、糲殻は綺麗ただけでなく相當品質のよいものを使ふといふことにしたいものです。

松川 この問題は問屋側のお話も伺ひたいと思ひますから後に譲りたいと思ひます。次は卵質と

しふことについての御批判を願ひます、芝田さん、如何ですか。

芝田 では申し述べます。吾々卵そのものについて考へて居ります者に取りますて、審査では卵の殻といふものを一寸もその眼目に入れておません、殻は先づ割つて捨て、その中身だけを取つて審査をする、あれは先づ非常に遺憾である。養鶏組合中央會で今度卵の審査標準を作つてゐるやうであります、卵の品質の善悪の中には、殻の品質が非常に重大な項目に入ります、殻はたと割つて捨て、しまふといふことはいけない、殻の品質といふものは審査の取扱ひ上非常な必要があるのであります、理窟を言ふと長くなりますが、卵白と殻とは非常に密接な関係があり、黄身と卵殻との間には関係が餘りないのです。例のコレレーションを考へて見ますと、黄身と卵白或は卵殻との間には十〇・四位の関係があるとすると、卵殻と卵白との間には十〇・七またはそれ以上の関係がある、それがため殻の厚さ品質の検査は卵を割つて見た卵白の検査をする一の標準になるのではないかと思ふ。その代り卵黄に對しては餘り批判の材料にはなりません。それで卵白の濃さ濃厚卵白の量と殻の厚さとは相當な相關々係があるので、殻を割つて中身を見るといふ場合には殻を捨てず、これは相當尊重する價值があると思ひます。次に卵白であります、これは相當新鮮卵が集つて居りまして、昨日見たものでは濃厚卵白の量が少くまた融けてしまつた

といふものは、あるにはあつたが少なかつた、審査の方法に關係しますが、この卵殻は堅いとか割つて見て水様卵白が多く濃厚卵白が少いといふやうな「概評」だけでなく、時間の許す限り詳細に集めて數字的に、濃厚卵白いくら、水様卵白いくらと、數量的に表はす方法を取ることが必要だと思ひます。これは一日の批判會では無理であります、是非之はやる必要がある。アメリカのカルフオルニア大學で近頃頻りに提唱してゐるもので一定の篩の目を通して夫を通過した量に依つて濃度を決定する。極めて簡単な装置で、圓い圓板の真中に蜂の巢のやうに澤山穴が開いてゐて、これで卵白を濾す、すると水様卵白が落ちて濃厚卵白が板上に残る、極めて單純ですがこれで濃厚卵白何パーセント何グラムといふ風に數量的に濃厚卵白の量が判ります、たゞ、非常に濃い、粘りがある、水ツポイといふ抽象的な批判よりも、ハッキリした數字が望ましいと思ひます。尤もこれは實用上からは素人用機械で、論ずるに足らぬかも知れませんが、批判會として発表する場合は、一層、濃厚卵白何パーセント水様卵白何パーセントあつたと言ふやうにして批判した方が、原因も分るし改善の方法を示すことが出来ると思ひます。批判する以上、單によかつた悪かつたと言ふばかりではなく、これはどうしたら改められるか、どうしたら品質の向上を圖られるかを指導しなければならぬ、そのためにはたゞよかつた悪かつたではなく、數字を示

してかくくだからかうせよと指導しなければならぬと思ふ。次に卵白の中に二・三輪卵管の壁が崩れて混つて居つたものがあつた、これは鶏の疾病であつて偶々出るのはない。アレの出る鶏は連続的に出たり間歇的に出たり、色々ありますが、大體輸卵管に何か故障のあるものでありますから、原産地に於ては卵を外部から覗くだけでなく、時々割つて見て、アレの出る鶏は淘汰する方がよいと思ひます。次は黄身であります。黄身の色は概してよくなつて来てゐる様であります、これにつきましては、昨日も色々批判があつた様であります、黄身も卵白と同様にその程度を示す数字的な標準があつてよいと思ひます、これなら菓子子の製造に適する、保存に堪えるといふことを原産地に示す方法です、それが無い、我々は現物を見ながらお互同志この程度ならよからう等と言つて居りますが、それを原産地に向つてどうも黄身が少し淡い、濃くしなければならぬ、どの位ですと言はれた時数字で現はせばハッキリ判ります。これは將來の研究問題としてです、チントメーターはイギリス製で五、六百圓で買へるのであります、それらを日本で作る、その計器を使つてハッキリした標準によつて、では何種類の飼料をどれ位食べさせればよいといふことを言つてやる必要があると思ひます、たゞ濃いから淡くしろ、淡いから濃くしろといふのでは注文が無理ではないかと思ひます。それから黄身の中に血斑の入つてゐたものが若干見

えました、之は卵巢の疾病であります、卵巢の腫瘍等の場合血管が破れて混じります、極く少量のやうなものゝ入つて来るのは卵巢の濾胞附近の血管が破れるからです、これはその儘治癒した後には普通のやうになつてしまひますが、これらは卵巢の腫瘍その他の疾病であります。この鶏も淘汰しなければならぬと思ふのであります。これらはやはり原産地で時々卵を割つて検査し、血斑を出すやうな傾向のある鶏は早く淘汰する方がよいと思ひます。それから黄身の一部分が崩れて斑點となつてゐるものがあります、これは餌料の關係から来ることもあります、例へば魚の「あら」のやうなものを澤山攝る場合、脂肪が遊離してあの斑點になります。これは飼料の改善で豫防することが出来ます、同時に疾病から来るものもあります、例へば白痢菌を有つてゐる鶏に斑點が出来る、それは何方から来たかといふことは一寸分りにくいのであります、どうも白痢菌に多いらしい、白痢検定の進んでゐない地方の鶏卵の黄身中には斑點が多い傾向があるから飼料を改善してなほ盛に出るやうなれば白痢菌ではないかと検定する必要がありますのではないかと思ひます。尤もチブスにはこのやうな卵がよい、白痢菌がチブス菌を打ち負かすからですが、これは冗談で、白痢菌を有つてゐる卵などは食べない方が宜しいです。概括的に申しますと黄身も卵白も非常によくなつて居ります。たゞ將來の理想としては、卵白の時申上げた通り、我

々の立場から言へば批判といふことから進んで指導したいのであります、その模範的の例として
 昨年の秋安城の近くの明治村の卵質共進會へ行つたことがあります、この村の指導をしてゐる養
 鶏技術員が非常に熱心で、卵質の検査をするのに、卵を一ヶ所に集めて割つて批判するといふの
 でなく、約三ヶ月に亘つて豫め飼料範圍を報告させ、最初の一ヶ月の終りに技術員自身が各農家
 を廻つて、各現場々々で卵を割つて批判する、二ヶ月目にも同じことをする、そして三ヶ月の終
 り、初めて一ヶ所に集めて審査をする、そしてその批判に至りましては、たゞ卵をよい悪いとい
 ふのではなく、お前の所は斯くの如き飼料を使つてゐるから、かういふ卵黄になつたのだと、飼
 料と卵黄の關係を批判して改善に資してゐるのであります。私は卵質の改良といふことは其處ま
 で徹底しなければならぬと思ひます。

米 田 芝田さんのお話の卵殻について全く無頓着であつたといふお叱りは尤もだらうと思ふので
 ありますが、卵殻と卵白と非常に關係が深いといふことについては、學問的なことは全然考慮さ
 れなくても、卵殻が厚くなければ内容が漏洩する、壊れやすいといふ事柄は大體見てゐたので將
 來は只今の御説の通りやる可きだと思ひます。

深 川 芝田さんの學問的な有益な批判を頂きましたが卵殻の膜と卵白の關係といふものも色々地

方の鶏卵品評會に行くと思はれておられるのであります、昨日はそれをやりませんでした。が細密にする必
 要は確かにあると思ひます、それから薄皮を産む鶏の個性、俗に言ふチンチン卵を産む鶏の個性
 は、先刻おつしやつた血斑等が内容にある鶏同様淘汰する必要はありませうね。

芝 田 それはあります。

立 川 この問題については長尾さんの御意見を伺ひたい。

長 尾 芝田さんから大分詳しく言はれましたので、私からは餘り澤山を言ふ必要はないやうに思
 ひます、たゞ補足的に二、三所感を申し述べたいと思ひます。先づ芝田さんの言はれた卵殻の薄
 い厚いといふことは、これを如何に改善するかについて色々の意見もありませうが、私が短い期
 間であります、経験した所によりますと、普通民間では石灰を含んだ物を澤山食はせれば殻が
 丈夫になると言ひますが、どうも實際に於いては當てはまつてゐないやうに感じます、併し粉餌
 と粒餌とをやる場合には粒餌の方が多少卵殻の厚さに影響があるやうに考へて居ります、であり
 ますから卵殻を厚くするためにはどうしても粒餌の飼料を必ず多く給與すべきが當然であると考
 へて居ります。でありますから昨日出陳された卵の上から考へましても概して卵殻が薄くなりつ
 つあるのではないかと考へて居ります、殊に静岡縣、愛知縣方面の卵は非常に薄いやうに存じま

す、この邊の方々には特に粒餌の飼料につき御考慮を願ひたいと考へて居ります。次に卵の大き
 さであります、これは大體市場に出して商品として恥づかしくない様な程度に考へて居りますが
 この地方の卵には非常な矮小卵が入つて居ります、これは目方の關係で仕方がないのであります
 が、入れる事は本來不可ないことと思ふのであります、これは多分春に生れた雛の卵ではないか
 と思ひますが、出荷の方で選卵の時、矮小卵は努めて排除するといふことにしたならば、なほ聲
 價を擧げ得るのではないかと考へて居ります、それから卵の色であります、卵の色は御承知の如
 く鶏の種類によつて自ら限られて居ります。昨日の卵は全體から考へて概して白色レグーホン種
 (卵用種)に屬する物が多かつたのであります、なほ二、三の地方では雑種の卵を相當に入れて赤殻
 として白殻の間に入れるやうに考へて居ります。昨日問屋の方々に聞くと赤殻はよい評判である
 ので雑種を繁殖する地方ではなるべく濃厚なる色の殻を作ることは一つの方法ではないかと思ひ
 ます、併し將來のことも考へなければならぬのでありますから現在雑種を飼つてどれだけ利益が
 あるか、御承知のやうに雑種を飼へば殻が丈夫で澤山産むと言はれましたが、これは前の話で、
 現在では雑種より純粹種にしなければならぬので、純粹種を飼つて相當能率を上げてゐるものも
 あるのであります、これからは努めて雑種をやめ赤殻を生産するものも、白殻を生産するものも

その種類の確定したものを飼ふといふことにして頂けば、卵殻といふ上からのみならず鶏卵全體
 から考へて適當な方法ではないかと考へるのであります、また卵の大きさについてですが、非常
 に圓いものと長いものがあります、これも餘り長いのは勿論商品として不可ないし、取扱ひの上
 にも困るのでありますから、長い卵を産むといふ鶏はこれは芝田君の御研究であります、やは
 り遺傳性によるものではないかと考へられて居ります、白痢またはその他の疾病のものと同様將
 來淘汰するといふことを生産者は銘記して頂きたいと思ひます、それから疾病にして色々と生産
 卵に影響を及ぼす、殊に卵質につき疾病鶏の及ぼす影響は非常に大きいのであります、殊に卵質
 に血を混へる、または肉塊を混へるといふことは商品として最も忌むべきことでもありますから、
 かういふものは飼養管理の上から考へますと、どうしてさういふ血を含むやうな疾病を起すか、
 肉塊を付け、卵を産む疾病を有つやうになるかと言へば、これは概して動物質の飼料が原因であ
 ります、殊に餌を變へるといふことであります、又動物質の生ま餌といふことが原因します、
 動物質の生ま餌をやりますと乾燥しても、消化器に病氣を起して、その結果生殖機能に影響して
 結局色々な、血卵等を出すといふことになりすから、飼料をやる場合に動物質をあまり變更し
 ないといふことをやつて行けば色々な疾病による生産卵の不都合なことは自ら解消するのではな

いかと考へて居ります、甚だ簡単であります、昨日見た上からどう鶏を飼つたらよいかといふことを述べたのであります、なほ昨日千葉縣でありましたか、卵全體に土や鶏糞が付いて居りましたが、之は多分飼つてゐる所が北向きで陽が當らず、地が乾燥してゐないのではないかと考へます、または密集飼ひをして採卵を怠つてゐたのではないかと思ひますが、このやうな不潔な卵を出して堂々と東京市場へ送るのはどうかと思ひます。

米田 糞の付いた卵はあまりなかつたのでありますが、これは養鶏發達の程度を示すものであります、福島縣等には糞付卵が非常に多い、千葉縣にもさういふものが多かつたやうであります。また糞を拭いて糞は付いてないのですが、其の操作が悪いために卵に生き／＼とした、所謂生色がなく非常に燻ぶつたやうな色になつたもの、又は洗つたことの判然解るもの等があつた、群馬縣、長野縣特に東部北信養鶏組合に相當多いのであります、これらの點については餘程注意しなければならぬと思ふのであります、群馬縣等では藥品を相當使つて洗滌してゐるやうであります、藥品を使ふのは悪いことではないとしても、使ひ方を誤りますと、反つて卵を汚したり、卵質を損するのでありますから注意を要します。

立川 問屋さんの方々の一つ商品としての卵といふやうなことに御意見を述べて頂きたい

と思ひます。

豊田 私共問屋の方としては全然養鶏といふものゝ知識がないのでありまして、どうしたらよい卵が出来るかといふことは殆ど知らないであります。たゞ昨日拜見致しました結果の報告だけに止めたいのであります。全般的に亘りましては長足の進歩を見たやうに思ひました、これは各機關を通じまして當局の御指導の結果によるものでありまして、茲で感謝の意を表する次第であります、また一面には生産者自體の眞剣な研究の結晶であると大變喜んで居ります、併しまだ消費者の希望には懸隔があるやうに考へて居ります、その要點はやはり卵殻、卵黄及び卵白、先づ内容につきましてはこの三點であらうと考へます、卵黄に對しては最早や論ずべきことはなからうと思ひます、卵殻は薄皮でない、やはり硬質のものを望んで居ります、そして赤皮二割以上を混入したいと思ひます、卵白はどう見ましても最良のものは餘りなかつたやうに見て居ります、透明で粘着力のある卵白を望んで居ります、これが内容に對する三點の希望であります。先づ審査の結果から見ますと、總括的内容につきましては信州卵が第一のやうに認めました。鶏卵の外観並に外装については遠州卵を以て第一位と致します、内容外観とも愛知縣の品は第二位以下に認めます、埼玉の方は先づ普通でございます、併し内容は極めて良好であります、群馬縣は汚卵

が多く第三位以下の程度であります、福島縣双葉郡のものは内容は誠によいやうに存じますが如何にしても破卵と汚卵が多く、且内容外装とも商品としての價値がないやうに思はれます、それから沼津は選卵が非常に不良に、また拭玉が非常に多く、殊に破卵が甚だしく填充材料が極めて粗悪で靱に塵を混へて居りました、従つて詰め方も非常に拙劣でありまして、これ亦四位以下の商品であります、千葉のはもう一段の努力を要すると思ひます、丁度愛知縣の十數年前の養鶏状態に今の千葉があるやうに見て居ります、たゞ一部卵黄に於て良好だといふことだけが取り柄のやうに認めます、實際に於いて製菓會社料理店の希望する所はどうしても卵黄の濃厚なものを希望してゐます、一面から言へばそれは餘りよくないものかも知れないけれども、實際の需要家はどうしても卵黄の濃厚な色を希望して居るので、従つて今でも茨城縣の一部、鉾田、石岡、石毛等のもはどんな汚ないものでも、相當價格を以て需要されて居ります、製菓會社でも用ひて色が出ない、料理店でもさうで、玉子焼を拵へても茶碗蒸しを作つても色が出ません、どうしても色が出るものを喜びます、さうかと言つて赤味を有つたものは歓迎されません。それから卵殻の弱いためか、冬季はこれで被害は少くなりますが、夏季はなほ破卵とそれによる損害が多くなるものと考へます。この損害は非常に大きいものであります、何とかして丈夫にして貰ひたいと希

望して居ります。卵黄に對しては昨日拜見致しましたが甲乙はありませぬ、なほ一層濃厚なものを希望して居ります、商品としては先づこの程度であります。

中山 大體豊田さんが言ひ盡して居ります、たゞ卵殻の色の櫻色のものを加へて頂きたいのであります、④のは冴えてゐます、色はみな櫻色をして居ります、他のは眞白または一寸すゞけてゐますが、⑤の色を二割位加へると見た目が非常によい、店に飾つても非常に見場がよい、また現在小賣店が取引に来て、箱を開けて見て赤皮が入つてゐると、一口にこれはよい卵だと言ひます内容のよい悪いは別として赤皮が混つてゐると一見してよいと言はれますから卵殻の色は何とか早く改良出来るやうな方法を取つて貰ひたいと思ひます。黄身は總括的には大體あの程度で、あれ以上濃くすることはないと思ひます、黄身ですから何處までも黄色くさへあればよいのではないかと思ひます。今日でも千葉縣、茨城縣で出来る汚れた地卵も特殊な物に使はれて居ります。あれは黄身が濃いのです、それで小賣といふよりも、やはり菓子店料理店といふ特殊な方面で使つて居ります、昨日の黄身の色では、もうあれで十分で、あれ以上にする必要はないと思ふ、さういふ物を使つてゐるのは長い間の傳統で、うちでは地卵でなければ使はないといふ慣習がさうさせてゐるので、寧ろこの方面の認識が足りないのではないかと思ひます。それから荷造りに付

まして最初開けたのは駿東の箱で、これは非常に古ボケテゐるもので、一見した感じが誠に悪い、第一印象が悪くて二流三流のやうに考へられます。釘の打ち方にしても非常によい所もあるけれども静岡縣の釘はすべて代表的のものでありますが、それから駿河中部等も統一されて居ります。その他の釘の打ち方は非常に粗雑で、そのため箱の蓋が割れてゐるやうに見えます、これは少し注意してやつたらよいと思ひます、③上田は釘が一定してゐませんが、普通三寸を使ひますが、それを大きいのと非常に小さい物を使ひます。繩は三分五厘がよいと希望してゐます、正三分ですが④や駿河中部、⑤等はこれを使つてゐます、⑥は非常に細くなつて居ります、大體三本位か、つて居りますけれども、大量を扱ひますため、一本や二本では切れたり落したりしやすく、また見た眼も貧弱です、これはどの組合も出来得るならば一定して三分か三分五厘の繩を使つて欲しいと思ひます、それから詰め方です、⑦をよく例に出しますが、⑧は荷造人といふものに責任を有たせて、その荷造り技術の完全なものだけに對して荷造人に檢定證を渡し、その物に荷造りをさせてゐます、中泉方面に行きますと荷物を二ヶ所三ヶ所から一ヶ所に集め、其處で經驗のある荷造人が詰めて居るので比較的統一されてゐます。けれども小さい組合では子供が詰めたり、男がみな畑に耕しに出ると女が詰める、どうかすると素人がやるらしい、それに方々から

集めては詰めるので統一も出来ず、殊に夏場では大變キズ物になります、出来得るならば經驗のある荷造人を選定し、それが自轉車でいくつかの組合を廻つて詰めさせたらどうかと思ひます、荷造りや詰め方に經驗の足りないため破卵を生ずることはそのため大變緩和されるのではないかと思ひます、夏場はそれがため大きな損害を來すのでありますから、さういふ風にしてやつて頂けたらと思ふのであります。

豊田 破卵ですが、昨日も十個、八個、五個、三個、二個とありました、以前には大體一箱五個位であります、一車三百二十箱とすると大變な數になります、この莫大な數量はエライ無形の損害であります、それから箱代が大變高くなつて、安い時から見ると約倍でございます、従つて愛知縣等は板の安いものを使ふため一段と破卵が出来る様に思ひます、地松がいけないといふのはありません、地松でもよいから分の厚いものを使つて欲しいといふことを希望して置きます。

中山 静岡縣の縣購聯ではこの夏やはり地松を使つてゐましたが、これは二、三錢安いらしいです併し一寸見た眼が非常に醜くてよくありません、それを全部エゾ松の種類に改良されて今では全部エゾ松を使つてゐます、日本の地松の眞ツ黒なものはどうも古つぼくて歡迎されません、どうもあゝいふ箱は、箱を見たゞけでよい悪いを言はれるので、一錢二錢には代へられませんが、冬場

はその割ではありませんが夏場は非常に神経過敏になつてゐて、よいとか悪いとかは直ぐ一箱に對して二十錢位も違つて来るから……

若林 豊田さん中山さんによりまして販賣業者の立場からの希望条件としては殆ど申し盡くされたやうであります、昨日拜見しました各地の卵で先づ外装の一番整つて居つたといふのは駿河中部を第一に置くものであります、内容の整つてゐるといふ所は、豊田さんの通り信州のもので、卵質も宜しいといふ風に見受けました、それで卵質の點について申しますと、小賣屋さん筋の希望と潰し屋さん、菓子屋さん、壽司屋さんなどの希望とは一寸趣きが變つて居ります、小賣屋さんの希望する所は遠州方面の卵殻が冴えて綺麗に揚つてゐるものです、潰し屋さんの方は卵黄のよいもの信州、千葉、茨城ものを歓迎致します、昨日卵黄の批判につきまして、この色がよい、あの色がよいと色々御説がありましたけれども、やはり潰し屋さんの方は何處までも濃い黄色がよいといふ希望でありました、千葉、茨城、信州あたりの黄身のよいものを非常に喜びますけれども、遠州、三州あたりのものはどうも歓迎されません、二筋に分れてゐるやうであります、何方を取つてよいかといふことになりまして、やはり二筋で何處までも行くべきだらうと思ひます私は潰し屋さんの方を多くやつてゐるからかも知れませんが、少しは赤味を帯びても黄身の濃いもの

をといふことを何時も希望する譯であります、その他の點はもう皆様から承つた通りで申上げることもありません、それから卵を見るといふことについて、これは餘程季節に助けられてゐるといふことが考へられるのであります、今見る卵と夏見る卵とは餘程違ひます。卵殻の程度、卵黄の程度に餘程差異があるものと考へて居ります、昨日見た卵黄は夏期になりますと相當淡くなる、卵黄が淡くなれば卵白も濃度がすつと淡くなります、昨日見たやうに一年中なつて居りますと誠に結構であります、夏期には一段と卵質が落ちるものと考へて居ります。

松川 各位から詳細に亘りて十分御批判がござりまして私の申上げ度いことは能く言ひ盡されて居りますのでその點は省略致します、尙先刻芝田さんから色々御注意がございましたが、實は昨日御批判を願ふ前に御打合せをしてやるやうに考へて居つたのであります處が東西落札の行き違ひのため前日の荷が取れませんでしたから早朝よりお出でを願つてゐるにも拘らず御批判頂くサンブルが集まらないため大に心配しその他の雜務に追はれましてウンと準備が遅れましたため遂に自分の考へて居りましたことが實行出来ずに、僅かな時間に急速に御審査をやつて頂くといふ、何もかも行違ひだらけで誠に恐縮して居るのであります。來年は三月の中頃に更に願ひたいと思つて居ります、次回はそれまでに考究を致しまして満足な進行をするやうに致す積りであります

す何卒御諒承を願ひたく、一言お断りを申し上げます。

立川 もつとお話を續けて頂きたいのでありますが、時間の関係もありますので、甚だ残念ながらこの程度で終りたいと思ひます。本日は色々とお忙のうちを御繰合せ下さいまして有益な御意見を漏らし下さつたことを深く感謝致します。

(おはり)



昭和十年二月十七日印刷
昭和十年二月十八日發行

東京市麴町區丸ノ内二ノ一八昭和ビル四階

發行所 養鶏組合中央會

電話丸ノ内(23)三六二〇番
振替東京四二九一一番

東京市芝區濱松町四丁目五番地

印刷者 中島久

東京市芝區濱松町四丁目五番地

印刷所 甲子社印刷所

電話芝(4)四三〇七番
振替東京一〇九八九番

終

4
00